

令和元年度 学校運営協議会（第3回）議事録

- 1 日 時 令和2年2月10日（月） 14：15～15：45
- 2 場 所 本校 会議室
- 3 参 加 者 協議会委員：保護者、地域住民、学識経験者等5名
本校教職員：校長、教頭、事務長、首席（兼教務部主任、第2学年主任）
生徒指導主事、進路指導主任、保健主事

4 内 容

- (1) 委員長挨拶
- (2) 校長挨拶
- (3) 第2回議事内容確認
- (4) 議 事

◆ 平成31年度学校経営計画および学校評価（案）について

○確かな学力と「学び」への主体性の育成

- ・学習指導に関しては今年度の生徒評価が高かった。ICT機器の活用をはじめ、さまざまな工夫を取り入れていることが良い結果に結び付いている。
- ・生徒指導については学校評価アンケートから3年前と比較すると生徒の評価が年々高くなってきている。
- ・生徒間の人間関係とトラブルについては早期発見、早期対応に努めている。
- ・待ちこみメールの発信数については例年並みである。今後も有効に活用していきたい。
- ・さまざまな会議において意思疎通が十分に図ることができていない現状がある。
- ・図書館の利用が上昇しており、今年目標をはるかに上回る。3年前と比較すると利用者が約3倍に上昇している。

○生徒支援体制の整備と充実化

- ・今年度の遅刻者数は昨年度から微増はしているものの大変少ない状況である。
- ・生徒支援会議について、配慮が必要な生徒の支援について議論を深め、実行することができている。
- ・入学生対象に新入生歓迎会や体験入部など部活動への加入促進の働きかけを行っているが、部活動の入部率が低下している。
- ・美原高校杯、週休日の部活動指導については働き方改革の観点から運用方法については検討が必要である。
- ・体育専門コースでは今年度野外活動実習で防災教育を取り入れた。今後は地域防災に貢献できるような取り組みを考えていきたい。

○地域と連携した安全・安心で魅力ある学校づくり

- ・公立高校への志願者数が大変厳しい状況にあり。学校説明会の参加者数が志願者数に結びつかない

難しさがある。

- ・外部機関とも連携し、交通安全を含め安全安心を図る取り組みを進めることができている。しかし登下校中の自転車事故が減少せず、対応策に頭を悩ませている。
- ・時間外勤務の大幅な縮減ができていない。ペーパーレスの職員会議を実施し、業務削減を試みた。

◇学校運営協議委員からの質問・ご意見

- ・自転車事故について事故発生場所や原因について傾向はあるのか。
→特に発生場所が集中しているわけではない。幹線道路からの抜け道となっている交通量が多い場所で自動車との接触事故が多い傾向がある。また必ずしも生徒の不注意だけが原因ではない。自転車専用道路の整備が進むことを願う。
- ・事故の件数について増えた原因について
→数年前に比べ、登下校中に生じた事故報告を徹底していることが件数増加の要因の一つとして考えられる。今後も生徒の事故状況を把握し、今後の交通安全指導に反映させたい。
- ・部活動加入率の低下について
→中学校でも部活動があり方に変化が見られ、学校外で活動する生徒が増えている。高等学校でもその傾向が部活動加入率の低下につながっている。また高校では部活動には加入せずアルバイトを考えているという声をよく聞く。
女子生徒で運動部に加入する生徒が少ないことが特徴である。
体育専門コースの生徒だからといって必ず部活動に加入しているとは限らない。
加入している生徒はイキイキと活動している。
- ・体育専門コースを選択する理由について
→部活動をしているということではなく、身体を動かすことが好きであるという理由が多い。
先輩が活動している様子から選択する生徒もいる。
- ・部活動に入る意味について
→学校が部活動を担う意味がどこまであるのか。中学校では外部の要素が増えつつある。
文科省は学校から部活動を切り離す方向である。教員の部活動における負担感は大きく、教員がすべてを担うことは難しいと思う。一方で生徒集めのために部活動を活発に行っているということは外せない。

学校運営協議委員から、平成31年度学校経営計画および学校評価（案）についてご承認いただいた。

◆令和2年度 学校経営計画および学校評価（案）について

継続した目標、歴代の校長より受け継いできたものについては目標値の変更はあるが、内容に大きな変更はない。今年度を踏襲して継続していきたい。

今年度、あまり改善がみられなかった時間外勤務の縮小については職員会議のペーパーレス化、最終退勤時間の繰り上げ、電話交換機による時間外の音声対応等の取り入れを前向きに検討し、業務の効率化推進に繋げたい。

◇学校運営協議委員からの質問・意見

・音声対応について

→中学校では土日を含め、決められた時間からの音声対応を検討している。

保護者としては音声対応導入当初は戸惑いが生じることも予想されるが、制度が浸透すればそれに応じた対応が可能であると思う。

学校運営協議委員から令和2年度学校経営計画および学校評価（案）についてご承認いただいた。

◆ 学校評価アンケートへの回答について

・数値の分析について

年次別変化 生徒：部活動以外での数値が上昇。友達作りの質問項目についても上昇している。
グループワークを取り入れた効果がみられる。

保護者：「相談に乗ってくれる」という項目の数値が上昇している。
教職員が保護者のニーズに応えられていることがわかる。

教員：主体的対話的な活動やICTの活用が行われている。
会議での有効な意見交換が課題となっている。

学年別変化 1年生：生徒：全体の平均値より高い。

きめ細かい指導や少人数制の授業の効果がみられる。

保護者：全体の平均値より低い。

2年生：生徒：全体の平均値より低い。

一方で生徒と教員の信頼関係は築くことができている。

保護者：全体の平均値より高い。

生活指導や学校行事にしっかり取り組んでいることが伝わっている。

3年生：生徒：全体の平均値より高い。

進路実現に向けて取り組んでいる成果がみられる。

保護者：情報発信として低い評価であった。

・自由記述への回答

教科指導について 今後もわかりやすい授業となるよう授業改善を進めていきたい。

進路指導について 入試制度の改革もあり、それぞれの学年に応じた情報の提供を行いたい。
例年三学年共通での進路説明会を行ってきたが、来年度は学年別の進路説明会として実施したい。

生活指導について 安全で安心したよりよい学校生活を送ることができるよう生活指導を行っている。「挨拶をする」「時間を守る」「規則を守る」といった社会では当然必要とされることに関して、学校生活を通してしっかり習得してもらいたい。

設備関係について エアコン・トイレ・廊下などについての要望があり、その回答を記載した。

◇学校運営協議委員からの質問・意見

・携帯電話持ち込み許可についての変化について

→学校評価アンケートでの携帯電話に関する保護者からの意見は大きく減少した。

しかし、授業中に鳴ってしまうなどの不正使用、また SNS 上への誹謗中傷等の書き込みや不意な画像や動画の投稿がありトラブルが増加している。これまでと同じように情報機器の使用についての外部講師による講演会等を取り入れ、正しい使用方法を促していきたい。

◆ 令和元年度 授業アンケート

- ・生徒取り組み、授業評価、意識定着度といった内容について年 2 回アンケートを実施した。
- ・第 1 回と第 2 回の数値の比較と今後の改善策を各科目について各教科で検討をしてもらった。
- ・第 1 回と第 2 回の比較から、これまでは第 2 回の数値が下がる傾向にあったが、今年度は下がる科目が少なく、横ばいまたは上昇する科目が多くあったことが特徴として考えられる。ICT の導入、ペアワーク・グループワークの実施、生徒の興味関心を引く教材作りなど先生方が授業改善に取り組んだ成果がみられる。
- ・基礎学力の定着と向上が課題であると捉えている教科が多い。日頃の授業または新教育課程策定を通してこの課題解決に向けて取り組みたい。
- ・授業中の生徒の取り組みをどう評価していくのかを今後の改善点としていくつかの教科が挙げていた。

◇ 学校運営協議委員からの質問・意見

特に質問・意見はなかった。

◆ 各分掌より

・保健部より

健康診断：身長…男子女子ともに大阪府の平均を下回っている。

体重…男子は大阪府の平均を下回り、女子は上回っている。

視力検査：視力が低い生徒が増えてきている。

歯科検診：未処置歯がある割合は全国と比較すると高い。

歯石・歯肉で治療が必要な割合が高く、正しい歯磨きの習慣を周知していきたい。

感染症：1 月でのインフルエンザのり患者は多かったが、大きな蔓延には至らなかった。

色覚検査：第 2 学年を対象として実施。約 7 割の生徒が検査を受けた。

保健室利用：例年第 3 学年が多い傾向にあるが、今年度はそこまで多くない。

気温の変化や学校行事から 6 月 9 月 1 1 月に利用者が多くなっている。

スポーツ振興センター：利用件数を学年、曜日、時間帯、部位などの項目別で分析報告を行った。

・進路指導部より

大学・短大が約 3 割、これから一般入試を受ける生徒が数名いる。専門学校が 3 割から 4 割、AO 入試の利用者が多かった。就職が 3 割から 4 割、そのうち約 8 割が学校紹介によるものとなっている。進学から就職に代わるが多かったことが今年度の特徴として挙げられる。また 2 年生については現在次年度に向けて就職模擬選択を行っている。

・生活指導部より

遅刻数：生徒数が減っている分、数値の減少がみられる。去年よりは上回ると思われる。

一方で欠席者数が多い。遅刻を避けるための欠席を減らすためにも、遅刻をなくす意識を高めることが大切であると考える。

携帯電話：SNSの書き込み、画像や動画投稿が後を絶たず、個人情報の漏洩が懸念される。

情報発信の教育や個人情報漏えいの危険性の周知が急務である。また携帯電話の指導に対する保護者の価値観に違いがあり、保護者への指導の理解が今後も必要である。

懲戒指導：単車通学や喫煙での指導はほとんどなく、SNS関係の指導が多い。

盗難・器物破損：特定された場所で生じている。巡回を増やすなどの対応を講じている。

交通事故：事故を減らすためにも道路交通法を守るようきっちり指導をしている。

◇学校運営協議委員からの質問・意見

・中学校での携帯電話の扱いはどうなっているのか。

→中学校では登校時預かり、放課後返却することとしている。

SNSに関係した生活指導事案が中学校でも増加している。

◆全体を通して委員からのご意見

- ・岩崎委員 いくつかの学校で入学志願者数が減少となっていることがPTA会長会でも話題となっている。合格者説明会時に保護者の質問にPTA役員が答えることを取り入れ、学校の教育活動への理解を促している。
- ・白江委員 外部へのアピールする部分が減少しているような印象がある。
今後はこれが美原高校だという魅力作りに注力してもらいたい。
- ・伯井委員 生徒対応について多様化していることから、指導を行うことの難しさを感じた。
美原高校に入って良かったと感じてもらえるよう尽力してもらいたい。
- ・柴山委員 保護者にとって行かせたい学校とは学校の基本的な生活の確立とアピールする魅力が両輪だと考える。基本的な学校生活はしっかりできているのでアピールする部分を磨く必要があると感じた。
- ・浅野委員長 保護者と生徒の満足度が上昇している。丁寧な指導、きっちりとした対応が落ち着いた学校生活を送ることができていることがよくわかる。

◆閉会の挨拶（校長）